

## 要 約

試験委託者：環境省

表 題：7-メチル-1,6-オクタジエンの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試験番号：A020374-1

試験方法：

- 1) 適用ガイドライン：OECD 化学品テストガイドライン No. 201 「藻類生長阻害試験」  
(1984年)
- 2) 暴露方式：止水式 (密閉系), 連続振とう培養 (100rpm)
- 3) 供試生物：*Selenastrum capricornutum* (株名：ATCC22662)  
(現在 *Pseudokirchneriella subcapitata* と学名が変更されている。)
- 4) 暴露期間：72時間
- 5) 試験濃度：対照区, 助剤対照区, 0.600 mg/L (試験液調製可能最高濃度での限度試験)  
(設定値)  
助剤濃度：100  $\mu$ L/L (ジメチルホルムアミド使用)
- 6) 試験液量：100 mL (OECD培地) / 容器
- 7) 連 数：3 容器 / 試験区
- 8) 初期細胞濃度：前培養した藻類  $1 \times 10^4$  cells/mL
- 9) 試験温度：23 $\pm$ 2  $^{\circ}$ C
- 10) 照 明：4000 lux ( $\pm$ 20%の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分 析 法：ガスクロマトグラフィー質量分析計 (GC/MS)

試験結果：

- 1) 試験液および試験培養液中の被験物質濃度

被験物質濃度分析の結果, 測定値の設定値に対する割合は, 暴露開始時の試験液において 88 %, 暴露終了時の試験培養液において 0.2 %であった。被験物質の50%揮散速度は約7時間であることから, 濃度減少の主な原因は揮散と考えられた。阻害濃度の算出には開始時の測定値を用いた。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 Ebc50 (0-72h) : >0.525 mg/L (95%信頼区間:算出不可)

最大無作用濃度 NOECb (0-72h) : >0.525 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-48h) : >0.525 mg/L (95%信頼区間:算出不可)

最大無作用濃度 NOECr (24-48h) : >0.525 mg/L

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-72h) : >0.525 mg/L (95%信頼区間:算出不可)

最大無作用濃度 NOECr (24-72h) : >0.525 mg/L

4) 藻類の形態観察

暴露終了時の顕微鏡下での細胞形態観察の結果、0.600 mg/Lの濃度区では細胞形態の変化（収縮，膨張，破裂等）や細胞凝集は認められず，対照区および助剤対照区との相違もなかった。